



絵本のまち板橋

令和7年度 みなさんにおすすめしたい本

高学年

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

令和7年度 みなさんにおすすめしたい本

高学年向け

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	1	二平方メートルの世界で	前田 海音/文	小学館	E
	2	ひと箱小屋とひみつの友だち	赤羽 じゅんこ/作	さ・え・ら書房	917カ
	3	シャンシャン、夏だより	浅野 竜/作	講談社	917サ
	4	坂の上の図書館	池田 ゆみる/作	さ・え・ら書房	917ク
	5	ぼくんちのねこのはなし	いとう みく/作	くもん出版	911ト
	6	人間になりたかった犬	今西 乃子/作	新日本出版社	911マ
	7	岬のマヨイガ	柏葉 幸子/著	講談社	91カシ
	8	サステナブル・ビーチ	小手鞠 るい/作	さ・え・ら書房	913チ
	9	江戸の空見師 嵐太郎	佐和 みずえ/作	フレーベル館	919カ
	10	じいちゃんの山小屋	佐和 みずえ/作	小峰書店	919カ
	11	アリババの猫がきいている	新藤 悦子/作	ポプラ社	913シ
	12	チボロ	菅野 雪虫/著	講談社	91スホ
	13	バウムクーヘンとヒロシマ	巢山 ひろみ/著	くもん出版	91スヤ
	14	夏に、ネコをさがして	西田 俊也/作	徳間書店	91ニシ
	15	ハルと歩いた	西田 俊也/作	徳間書店	91ニシ
	16	あぐり☆サイエンスクラブ（全3冊）	堀米 薫/作	新日本出版社	91ホリ
	17	ぼくたちのいばしょ 亀島小多国籍探偵クラブ	蒔田 浩平/作	文研出版	91マキ
	18	金色の約束	松本 聡美/作	国土社	91マツ
	19	三島由宇、当選確実！	まはら 三桃/著	講談社	91マハ
	20	魔法のほね	安田 登/著	亜紀書房	91ヤマ
	21	昨日のぼくのパーツ	吉野 万理子/著	講談社	91ヨシ
	22	おいでフレック、ぼくのところに	エヴァ・イボットソン/著	偕成社	93イ
	23	希望の図書館	リサ・クライン・ランサム/作	ポプラ社	93ク
	24	その魔球に、まだ名はない	エレン・クレイジス/著	あすなろ書房	93ク
	25	ぼくたち負け組クラブ	アンドリュー・クレメンツ/著	講談社	93ク

☆リストの作成にあたっては次のようなことを目安として本を選びました。

- 1 楽しく、おもしろく読め、子どもの気持ちにあった親しみやすい本
- 2 子どもの年齢に合った、読みやすく夢のある本
- 3 名作ものがたりは、できるだけリストにいれないようにしました。

読書は、人生をより深く生き抜く力を身につけます。より多くの本との出会いを重ねるよう願っています。今回も皆さんが、本を選ぶ何らかの手がかりになるようにと、区内の小学校の先生と区立図書館の児童担当者でこの一覧表（改訂版）を作成しました。また、区立図書館や学校図書館には、よい本がありますので、ぜひ読んでみてください。

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	26	ぼくと石の兵士	リサ・トンプソン/著	PHP研究所	93ト
	27	<u>起業家フェリックスは12歳</u>	アンドリュー・ノリス/著	あすなろ書房	93ノ
	28	ブーさんの戦争 世界一有名なクマのお話	リンジー・マティック/文	評論社	93マ
	29	おじいちゃんとの最後の旅	ウルフ・スタルク/作	徳間書店	94ス
	30	ミスターオレンジ	トゥールース・マティ/作	朔北社	94マ
	31	テオの「ありがとう」ノート	クロディーヌ・ル・グイック=ブリエ/著	PHP研究所	95ル
ことば・詩	32	わたしはひろがる	岸 武雄/作	子どもの未来社	E
	33	<u>ことばハンター</u>	飯間 浩明/著	ポプラ社	81
	34	ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集	斉藤 倫/著	福音館書店	91チ
伝記・社会・自然科学	35	自由への道 奴隷解放に命をかけた黒人女性ハリエット・タブマンの物語	池田 まき子/文	学研プラス	28タ
	36	あかい自転車 ビッグ・レッドのながい旅	ジュード・イザベラ/文	六耀社	E
	37	すごい！ミミックメーカー 生き物をヒントに世界を変えた発明家たち	竹内 薫/監修	西村書店	E
	38	フクシマ 2011年3月11日から変わったくらし	内堀 タケシ/写真・文	国土社	E
	39	なんてくさいんだ！ロンドンを救ったジョセフの物語	コリーン・ペフ/文	あかつき教育図書	E
	40	山の上に貝がらがあるのはなぜ？はじめての地質学	アレックス・ノグス/文	岩崎書店	E
	41	消えたレッサーパンダを追え！監視庁「生きもの係」事件簿	たけたに ちほみ/文	Gakken	31
	42	ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾	佐藤 真澄/著	汐文社	31
	43	故郷の味は海をこえて	安田 菜津紀/著・写真	ポプラ社	36
	44	髪がつなぐ物語	別司 芳子/著	文研出版	36
	45	<u>絵画が教えてくれたこと 「最高の戦立」を作る。ぼくは学校卒業生</u>	松丸 奨/著	くもん出版	37
	46	<u>ニワシドリのひみつをもちよめて ものづくりする鳥のふしぎをさぐる旅</u>	鈴木 まもる/著	理論社	48
	47	クジラのおなかからプラスチック	保坂 直紀/著	旬報社	51
	48	オリヒメ 人と人をつなぐ分身ロボット	吉藤 オリィ/著	子どもの未来社	54
	49	世界を救うパンの缶詰	菅 聖子/文	ほるぷ出版	58
	50	チェンジ！	越智 貴雄/著	くもん出版	78

※ 板橋区立図書館の本は「記号」で分類されています。

※ 書名にアンダーラインのある作品は、今年度選ばれた作品です。

1



「ニ平方メートルの世界で」

前田海音／文

はたこうしろう／絵

小学館

病院のベッドの大きさは、約ニ平方メートル。病気で入退院をくり返す海音が、ニ平方メートルの世界で、家族のことや自分の病気のことを、たくさん感じて、考えます。そんなある日、海音の目にとびこんできたのは…。

2



「ひと箱本屋とひみつの友だち」

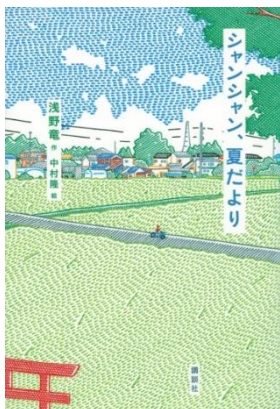
赤羽じゅんこ／作

はらぐちあつこ／絵

さ・え・ら書房

小学5年生の朱莉は、ひと箱本屋カフェ「SHIORI」で売られていた一冊の手作りの本に心を奪われる。作者は同世代の女の子・理々亜。ふたりはある日、「SHIORI」ではじめて会うことになり……。似ているけれど、ちょっと違う二人の物語。

3



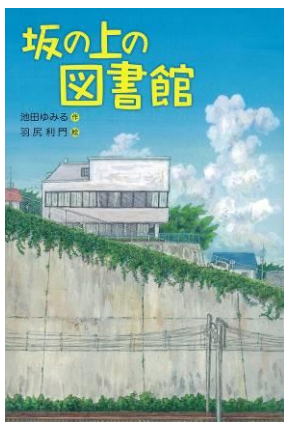
「シャンシャン、夏だより」

浅野竜／作

中村隆／絵

講談社

夏休みの始めにノブトは、転校生で変わり者の川村から「この町で、いままでにクマゼミの声をきいたことってある？」と言われる。この言葉をきっかけに優等生のカモッチもまきこんだクマゼミ探しがはじまります。



「坂の上の図書館」

池田ゆみる／作

羽尻利門／絵

さ・え・ら書房

小学5年生の春菜は母と二人で自立支援センター「あけぼの住宅」で暮らすことになった。すぐ隣には図書館がある。春菜は生まれて初めて図書館に行き、本を読むことが生活の一部となっていく。



「ぼくちのねこのはなし」

いとうみく／作

祖敷大輔／絵

くもん出版

ぼくちのねこ、“ことら”は16歳。人間でいうとおじいちゃんだ。最近元気がなくて、病院に連れて行っても、家で点滴をしても、どんどん弱っていってしまう…。最後の時をむかえた“ことら”と、ぼくたち家族の命の物語。



「人間になった犬」

今西乃子／作

福田岩緒／絵

新日本出版社

犬童神社に住む白い犬は、人を救うと人間に生まれ変われると言われています。犬のシロは、それを信じて頑張りますが、なかなかうまくいきません。そんな折、期間限定で小学生の男の子になれることになり…。犬と人間の友情ときずなの物語です。



「岬のマヨイガ」

柏葉幸子／著
さいとうゆきこ／絵
講談社

地震がきっかけで家族になったひよりとユイママとおばあちゃん。そんななか、津波で封印がとけて、昔話に出てくる海へビが岬をうばおうとする。カップ、お地蔵様、神様、…不思議な人たちの力をかりて、三人は海へビに立ち向かう。



「サステナブル・ビーチ」

小手鞠るい／作
カシワイ／絵
さ・え・ら書房

七海は、もやもやした気分で小学生最後の夏休みをむかえましたが、ハワイですてきな女の子ピカクと出会います。「持続的（サステナブル）な海を取りもどすためのアクションを起こす」ことをピカクと約束した七海。彼が起こしたアクションとは？



「江戸の空見師 嵐太郎」

佐和みずえ／作
しまぎきジョゼ／絵
フレーベル館

天気予報が今ほど手軽ではなかった江戸時代、空見（天気予報）が大層得意な嵐太郎という少年がいた。空見の腕を買われ、12歳にして黒船来航に関わるお役目を受けた嵐太郎が、歴史を動かす重大な空見に挑む！



「じいちゃんやまごやの山小屋」

佐和みずえ／作
カシワイ／絵
小峰書店

父とうさんとけんかして東京とうきょうからじいちゃんす いなかの住む田舎いなかにやってきた小学しょうがく六年生ろくねんせいの航太こうた。くらすのは電気でんきも水道すいどうもトイレトイレもない山小屋やまごや。じいちゃんの手伝いてつだをするうちに友達ともだちができたり、冒険ぼうけんをしたり、成長せいちょうしていきます。



「アリババねこの猫がきいている」

新藤悦子／作
佐竹美保／絵
ポプラ社

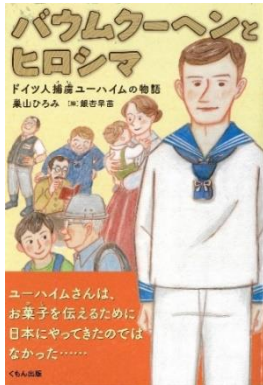
アリババしゅっちょうが出張あいだの間、友人ゆうじんの民芸品店みんげいひんてんを営いとなむ男性だんせいに預けられることになった、猫ねこのシャイフ。人の言葉ことばを理解りかいするシャイフだが、ある夜よる、民芸品みんげいひんたちの話し声はな こえが聞こえてきて…。人やモノの言葉ことばがわかる猫ねこがつかないでいく、不思議ふしぎな物語ものがたり。



「チポロ」

菅野雪虫／著
講談社

森もりに囲かこまれた村むらで暮らすチポロ。ある日ひ、海うみの向こうから魔物まものが現れ幼あらわなじみのイレシュがさらわれてしまう。三年さんねんが過ぎ、魔女まじよが現あらわわれる村むらの噂うわさを聞いたチポロは、ミソサザイの神かみと一緒にイレシュを探さがしに行くのだった。(3部作)



「バウムクーヘンとヒロシマ」

黒山ひろみ／著

銀杏早苗／絵

くもん出版

しょうがく ねんせい そうた
小学6年生の颯太は、バウムクーヘン
を愛する男の子。ある夏、ヒロシ
マで行われるバウムクーヘンづくり
体験に参加することに。どこでも作る
ことができるのに、なぜヒロシマなの
か？身近なモノを通していろいろなこ
とを知ることができる1冊。



「夏に、ネコをさがして」

西田俊也／作

徳間書店

がつ お ねんせい けいと な
7月の終わり、6年生の佳斗は、亡くな
ったおばあちゃんが住んでいた家に引
越した。おばあちゃんがかわいがっ
ていたネコをさがして歩くうちに、蘭
というちょっと変わった少年と知り
合う。ネコがきっかけで出会った少年
たちのひと夏の冒険物語。



「ハルと歩いた」

西田俊也／作

徳間書店

ようた しょうがっこう そつぎょうしき かえ みち
陽太は小学校の卒業式の帰り道に
ホームレスから迷子のフレンチブルド
ッグを渡される。飼い主を捜すため、
引っ越してきて一年の奈良の町を犬と
ともに歩く日々が始まった。



「あぐり☆サイエンスクラブ」

全3巻

堀米薫／作

黒須高嶺／絵

新日本出版社

のうぎょう か が く た うちゅう や が い
 農業は科学、田んぼは宇宙！野外
 か つ ど う が し ゅ く こ と ば さ そ
 活動、合宿ありの言葉に誘われて
 に ゆ う か い
 入会した「あぐり☆サイエンスクラ
 か つ ど う な い よ う い ち ね ん こ め つ く
 ブ」、活動内容は一年かけてのお米作
 りだった。水と土と命のめくるめく
 サイエンスワールドへ遊びに来ません
 か？



「ぼくたちのいばしょ」

か め じ ま し ょ う た こ く せ き た ん て い
 亀島小 多国籍探偵クラブ

松丸奨／著

くもん出版

し ょ う は る ま ひ で の り ふ た り し ん ぶ ん い い ん
 小6の春馬と秀則は二人で新聞委員
 をしている。そこにネパールから引越
 してきた女の子「サラダ」が加わるこ
 とに。そんな折、次々と事件が…。新聞
 委員はいつのまにか探偵クラブに？
 い い ん た ん て い
 様々なルーツをもつ子どもたちが
 ゆ う じ ょ う は く も の が た り
 友情を育んでいく物語。



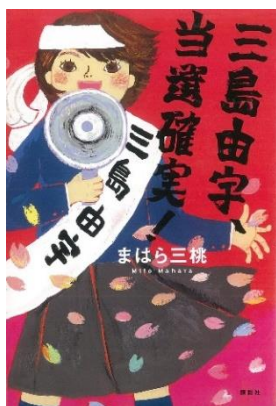
「金色の約束」

松本聡美／作

黒須高嶺／絵

国土社

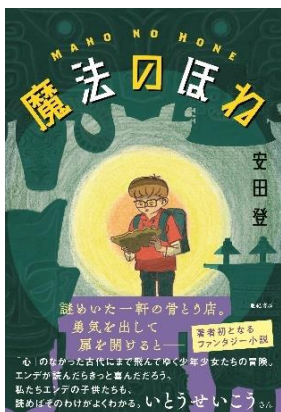
な か よ ひ と こ と
 仲良しだったけどある一言がきっかけ
 は な
 で話さなくなってしまった5年生の
 こ う き と も ひ こ ど う ぐ あ ず ふ た り な
 光輝と智彦。道具を預かった2人は亡
 くなったおじいちゃんと約束していた
 さ き ん と い
 砂金採りへ行くことに。
 た ん け ん こ う き
 探検していくうちに光輝はあることに
 は じ き ゆ う じ ょ う ぼ う け ん も の が た り
 気づき始めて…。友情と冒険の物語。



「三島由宇、当選確定!」

まはら三桃／著
講談社

5年生の春休み、由宇はお父さんの反対をおしきって、衆議院議員のおじいちゃんの選挙の手伝いをするに。由宇は精一杯おじいちゃんを応援しますが、思いもよらない事件が起こります。はたしておじいちゃんは当選できるのでしょうか。最後に選挙のしぐみの解説つき。



「魔法のほね」

安田登／著
亜紀書房

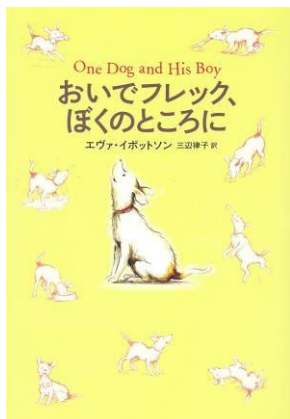
不思議な店で古代文字が刻まれた魔法のほねを手に入れた、たつき。古代文字を解読し、その意味を知ったたつきは、かおる、風太と共に古代中国へタイムスリップ!魔法のほねが予知する未来をかえるため、数々の試練に挑む。



「昨日のぼくのパーツ」

吉野万理子／著
講談社

アイドルはトイレに行かない?! 友達との会話から「学校でウンコしない競争」をする事になった大志。便秘に悩んでいた大志は誰もがトイレの悩みを抱えていると感じ、自由研究で調べる事にした。さあ恥ずかしがらず、みんなで話そう。



「おいでフレック、
ぼくのところに」

エヴァ・イボットソン／著
三辺律子／訳
偕成社

ねんがん いぬ か ゆる
念願の犬を飼うことを許してもらった
じゅっさい しょうねん なづ
十歳の少年ハル。フレックと名付け
てかわいがっていたが、週末だけの
レンタルの犬だと知り、深く傷ついて
しまう。そこから始まるハルとフレッ
クの居場所を探す冒険物語。



「希望の図書館」

リサ・クライン・ランサム／作
松浦直美／訳
ポプラ社

ラングストンは、父とふたりで田舎の
アラバマから大都市シカゴへ引っ越し
てきたが、新しい生活になじめず苦
しい日々を送っていた。そんな時、彼
はぐうぜんに誰でも自由に入れる
図書館を見つける。そこは、彼の希望
の場所となった。



「その魔球に、まだ名はない」

エレン・クレイジス／著
橋本恵／訳
あすなろ書房

ケイティは、野球が大好きな女の子。
ピッチャーでだれにも打てない
魔球が投げられる。
ある日、リトルリーグのテストを受け
ることになった。デイブ・コーチは
「すごいぞ！本当に」とほめてくれ
た。テストには合格したが…。



「ぼくたち負け組クラブ」

アンドリュー・クレメンツ／著

田中奈津子／訳

講談社

本が大好きなアレックは、放課後プログラムのなかで「負け組クラブ」という名の読書クラブを設立する。初めは、ニーナと二人でただ本を読むだけだった。



「起業家フェリックスは12歳」

アンドリュー・ノリス／著

あすなろ書房

フェリックスが、おかあさんのたんじょうびにプレゼントしたのは友だちがつくったカード。そのカードがいつの間に大ひょうばんに！そこで、フェリックスとなかまたちは、自分たちでカードを売る仕事をしようと考えます。



「ぼくと石の兵士」

リサ・トンプソン／著

榎田理絵／訳

PHP 研究所

発言することや、友達と関わることが苦手なオーエン。そんな彼のひそやかな楽しみは、公園の石の兵士に話しかけること。しかし、石の兵士は取り壊されることになったという。葛藤の末、オーエンがとった行動とは…!?



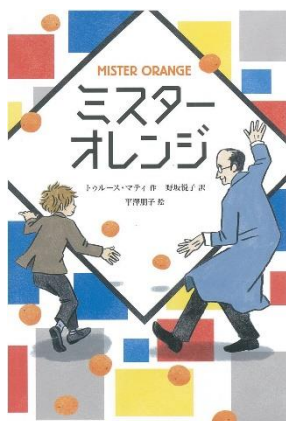
「プーさんの戦争 世界一有名なクマのお話」
 リンジー・マティック／文
 ジョシュ・グリーンハット／文
 ソフィー・ブラッコール／絵
 評論社

「クマのプーさん」を知っていますか？ 実はプーさんにはモデルになった子グマがいるんです。もちろん、友達^{ともだち}のクリストファー・ロビンにも。これは第一次世界大戦中、プーさんがクリストファー・ロビンに出会うまでの物語^{ものがたり}。



「おじいちゃんとの最後の旅」
 ウルフ・スタルク／作
 キティ・クロウザー／絵
 菱木晃子／訳
 徳間書店

ウルフの入院中のおじいちゃんはずごく口が悪い。でも、ウルフはおじいちゃんが好きです。おじいちゃんのためウルフは病院を抜け出す計画を立てます。目的地はおばあちゃんとの



「ミスターオレンジ」
 トウルース・マティ／作
 野坂悦子／訳
 平澤朋子／絵
 朔北社

第二次世界大戦中のニューヨーク。八百屋の三男ライナスが箱いっぱい^{はこいっぱい}のオレンジを届けた相手はひとりの画家だった。ライナスと画家は親しくなり、画家を「ミスターオレンジ」と慕うようになる。



「テオの「ありがとう」ノート」

クロディーヌ・ル・グイック
＝プリエト／著
坂田雪子／訳
PHP研究所

くるま せいかつ 車 いすで生活するテオ。ひとに助けられ、これまで^{おお}多くの「ありがとう」を^い言ってきた。でも、もう^いありがとうは^い言わない。そう決心して、日常のことは^{じぶん}自分ですよう^{どりよく}努力を^{はじ}始める。いっ^いぱい^いづま^いえ^いす^いす^い 一歩一歩前に進むテオの、^{せいちょう}成長の物語。



「わたしはひろがる」

岸武雄／作
長谷川知子／絵
子どもの未来社

おとうと がっこう 弟 や学校、ニュース、遠い^{とお}国などのいろいろなことを知る「わたし」。そして、知ったことを自分の^し中で^{なか}考^{かんが}え^えへん^えか^え 変化し、成長していく。この世界で生きていくことをあらためて^{かんが}考^ええ^えさせられる絵本です。



「ことばハンター

国語辞典はこうつくる」

飯間浩明／著
ポプラ社

ことばハンターとは^{こくごじてん}国語辞典をつくるため、ことばを^{あつ}集める^{ひと}人のこと。集めたことばをもとに説明を書いて^{こくご}国語辞典は^{つく}作られていきます。^{こくご}国語辞典をつくる^{ひと}人の^{してん}視点で書かれた^か辞書^{じてん}づくりの面白さが伝わる本です。



「ぼくがゆびをぱちんとならして、
きみがおとなになるまえの詩集」

斉藤倫／著
高野文子／画
福音館書店

詩はむずかしい？詩はわからない？詩

はでたらめ？おとなの「ぼく」と
小学生の「きみ」がいっしょに詩を
読みながら、ことばの持つ不思議さや
楽しさについて考えていく物語。



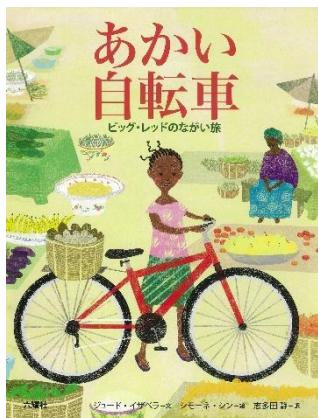
「自由への道」

奴隷解放に命をかけた黒人女性

ハリエット・タブマンの物語」

池田まき子／文
丹地陽子／絵
学研プラス

19世紀のアメリカでは南部を中心に多
くの奴隷たちが働かされていた。奴隷で
あった黒人女性ハリエットは奴隷主の
もとを脱出し、やがて秘密組織「地下
鉄道」の一員として、黒人奴隷たちを
北部に逃がすための手助けをしていく。



「あかい自転車」

ビッグ・レッドのながい旅」

ジュード・イザベラ／文
シモーネ・シン／絵
志多田静／訳
六耀社

レオはお金をためて、あかい自転車を
買いました。「ビッグレッド」と名前を
つけて、とても大切にしていたレオで
すが、成長したレオにビッグレッドは
小さくなってしまいます。





「山の上に貝がらがあるのはなぜ？」
はじめての地質学」

アレックス・ノゲル／文
ミレン・アシアイン＝ロラ／絵
宇野和美／訳
岩崎書店

山の上に海に住んでいるはずのカキの
貝がらがあるのはなぜ？そのなぞは山
の＜地層＞を見れば解けるんです。
地質学入門にぴったりの絵本。



「消えたレッサーパンダを追え！」
警視庁「生きもの係」事件簿」

たけたにちほみ／文
西脇せいご／絵
学研プラス

こちらは警視庁「生きもの係」。こ
であつかうのは、めずらしい生きもの
などがぬすまれたり、勝手に売り買い
されたり、という事件です。次々とも
ちこまれる事件の記録はまるでミステ
リー。読めばきっと、生きものについ
て考えてみたくなりますよ。



「ヒロシマをのこす
平和記念資料館をつくった人・

長岡省吾」
佐藤真澄／著
汐文社

原爆によって廃墟となった広島で、
熱線で溶けた瓦や石ころなどの「ガ
ラクタ」を拾い上げ、集めてまわるひ
とりの男がいた。のちに広島平和
記念資料館の初代館長となる長岡
省吾の自伝的物語。



「故郷の味は海をこえて」

「難民」として日本に生きる」

安田菜津紀／著・写真
ポプラ社

日本で暮らす外国人の中には、どうしても自分の国で暮らすことができなくなって、生きるために日本に来た人たちがいます。そんな「難民」とよばれる人たちが、日本に来るまでのこと、生まれた国のことなどを、故郷の料理をつくりながら話してくれました。



「髪がなくなぐ物語」

別司芳子／著
文研出版

ヘアドネーションは、髪をなくした子どもたちの役に立ちたいという思いから広がった、だれにでもできるボランティア。自分の髪を寄付する子どもたち、ウィッグを受け取る子どもたちの様々な思いを描く。



「給食が教えてくれたこと」

「最高の献立」を作る、
ぼくは学校栄養士」

松丸奨／著
くもん出版

栄養士とはどのような仕事でしょうか？ 子どもの頃 給食が苦手だった著者が学校栄養士になり、奮闘する姿を描いたノンフィクションです。「食」の大切さを伝え、食品ロスやSDG'sなどの社会問題についても考えることのできる1冊です。



「ニワシドリのひみつをもとめて
ものづくりする鳥のふしぎをさぐる旅」

鈴木まもる／著
理論社

著者が子どものころに出会った「もの
づくりをする鳥」の写真。大人になり
絵本作家となった著者はそのなぞを解
くため、南半球に旅立ちます。ふし
ぎな鳥「ニワシドリ」のひみつにせま
るイラストたっぷりの旅行記です。



「クジラのおなかから

プラスチック」
保坂直紀／著
旬報社

海岸のプラスチックごみ。環境問題
はどこかの国ではなく、あなたの目の
前で始まっています。気づかないうち
にプラスチックを食べているかも知れ
ません。正しい情報と知識を身につ
けて自分たちの未来を変えましょう！

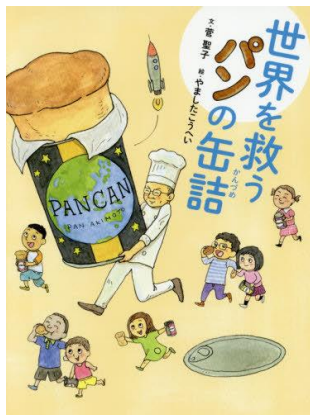


「オリヒメ

人と人をつなぐ分身ロボット」

吉藤オリィ／著
加藤悦子／文
子どもの未来社

OriHimeは、病気やケガなどで外出で
きない人が、パイロットとなり、操作
する分身ロボットです。孤独をなくし
たいという思いから生まれたOriHime
は、どのように生まれ、どのように活
やくしているのでしょうか。



「世界を救うパンの缶詰」

菅聖子／文

やましたこうへい／絵

ほるぷ出版

「乾パンのように長期保存できる、や
わらかくておいしいパンはありません
か？」パン屋の秋元さんはそんな声を
受けて、世界初のパンの缶詰を作っ
た。飢餓で苦しむ国にパンの缶詰を届
けたりと、町のパン屋さんが世界へ羽
ばたく。



「チェンジ!」

越智貴雄／著

くもん出版

障がいをもつパラアスリートを追
続けるカメラマンが、これまでに
出会った選手や彼らを支える人との思
い出を書いた本。障がいをもつ人へ
の偏見や、障がいにならず自分らし
くあろうとする人たちのことも書かれ
ています。

令和7年度

みなさんにおすすめしたい本

高学年

令和7年4月発行

編集 板橋区教育会学校図書館研究部

板橋区立図書館児童担当者会

発行 板橋区立中央図書館